

技術の発達とともに、高い精度が要求される中での徹底した品質の追求——。
 これこそが私達の理念であり、そこから人と人との信頼が生まれ、新たな結びつきが広がります。
 その安心と信用で結ばれた関係が永く続くことを心より願っております。

加工製品



自社製品

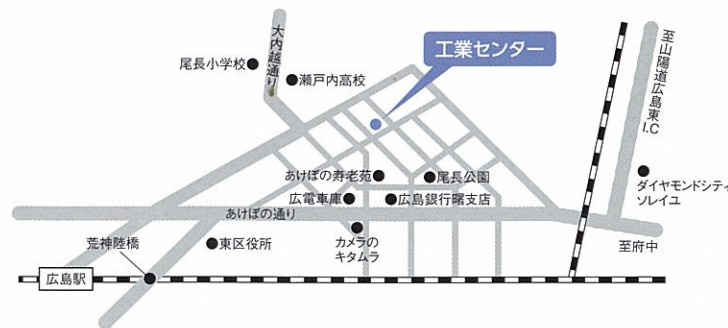


現有設備一覧

機械名	メーカー・型番	基数	能力(X×Y×Z)
治具中ぐり盤	三井精機 J6A	1台	1000×700×800
横型マシニング	安田工業 YBM600N	1台	850×650×700
立型マシニング	大隈鉄工 MB-66VB	1台	1500×660×660
立型マシニング	大隈豊和 MILLAC-55V	1台	1050×560×560
立型マシニング	大隈豊和 MILLAC-5VA	1台	1050×560×560
立型マシニング	大隈豊和 MILLAC-4VA	1台	800×400×400
立型マシニング	大阪機工 MCV-520	1台	1000×520×560
NC立フライス	大阪機工 MHA-400	1台	920×410×500
治具フライス盤	山崎技研 YZ-500WR	1台	1050×500×520
治具フライス盤	山崎技研 YZ-8L	1台	920×430×600
平面研削盤	岡本工作機 PSG-64	1台	600×400×200
旋盤	滝沢鉄工所 TAL-460	1台	
ラジアルボール盤	小川鉄工 HOR-1100	1台	
3次元測定機	ミットヨ CRYSTA-PlisM776	1台	700×700×600
3次元測定機	ミットヨ F805	1台	800×550×600
形状測定器	ミットヨ CV-3000	1台	
電脳旋盤	滝沢鉄工所 TAC-510	1台	510×1000

有限会社
工業センター

〒732-0046 広島市東区尾長東2丁目6-17
 TEL:(082)263-2023 FAX:(082)264-1470
 E-mail:kogyosenter@cotton.ocn.ne.jp
 E-mail:senter@cup.ocn.ne.jp



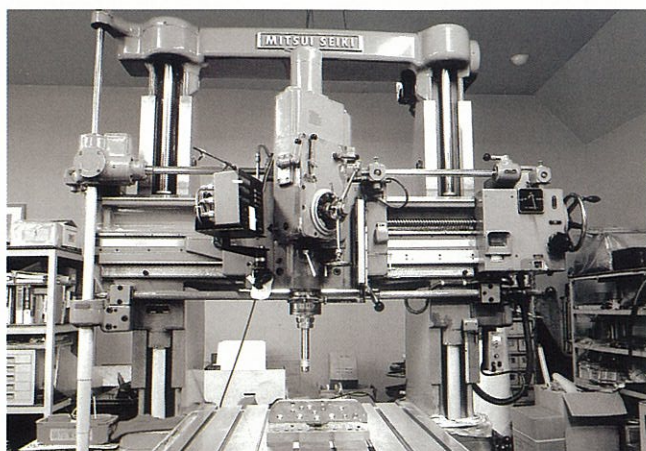
Technology 技術



創造 Creation

Technology

確かな技術で明日を目指す



1号機 三井精機治具中ぐり盤J6A(ジグボーラー)



安田工業 横型マシニングYBM600N

ごあいさつ

当社は精密部品加工を掲げ、昭和52年に1台のジグボーラーから出発し、最新機導入の度にお客様の要望に応えるべく一人一人が技術の向上に努めて参りました。現在では、マシニングセンター他、NC機器数台を保有し、試作部品の加工を中心に精密治具、検査具の設計製作等を行うまでに成長致しました。これらお客様のニーズにお答えできるよう、微力ではありますが、努力して参りますので、これからもより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

会社概要

社名 有限会社 工業センター
所在地 〒732-0046 広島市東区尾長東2丁目6-17
TEL:(082)263-2023
FAX:(082)264-1470
mail:kogyosenter@cotton.ocn.ne.jp
senter@cup.ocn.ne.jp
代表者 代表取締役 竹原 孝治
設立 昭和52年 10月1日
資本金 500万円
従業員 男性9名 女性2名
事業内容 自動車、農機具、産業機械部品の試作加工
精密治具、検査具の設計製作
主要取引先 井関農機株式会社、オカネツ工業株式会社
荻野鉄工株式会社、株式会社久保田鉄工所
コンチネンタル・オートモーティブ株式会社
眞工金属株式会社、株式会社ノグチ産業
株式会社ハマダ、ホーコス株式会社(50音順)
取引銀行 広島信用金庫 愛宕支店
広島銀行 曙支店、もみじ銀行 光町支店

個性を生かした新たな創造 Creation

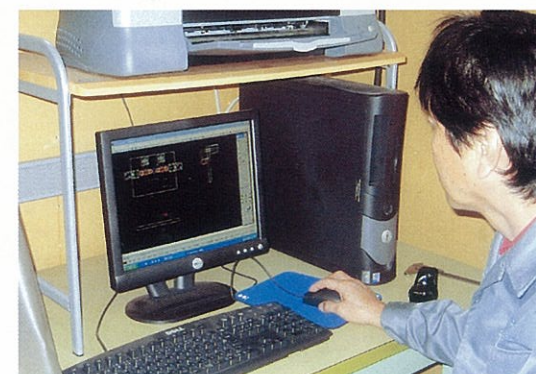
単品加工から量産加工まで。

私たちは、常に高精度品を安定供給できるよう、一人一人が日々努力を重ねています。



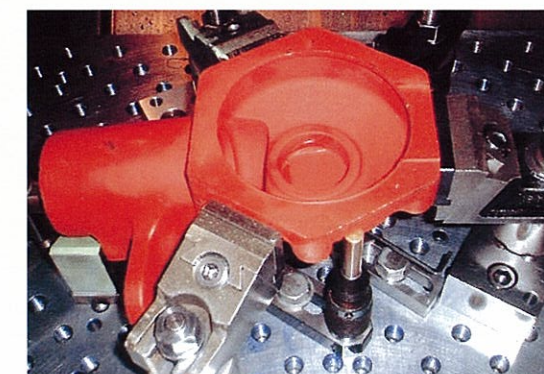
設計

私たちは現場を第一に考えます。それは治具や検査具の設計にも反映されています。使う人の身になって使い勝手の良いものをつくる。これが私たちのポリシーです。



加工

当社の強みはなんといっても単品加工。専用治具を製作することなく、独自のノウハウで低価格、短納期を実現します。



検査

リングゲージ、栓ゲージ、ブロックゲージ、ねじゲージはもちろんのこと、3次元測定機と形状測定機を持つことで確かな精度、品質をお約束します。



改善

問題が発生した場合、速やかに改善策を講じます。失敗はあってはならないことですが、それを前向きに捉え、徹底的に原因解明し、二度と同じミスを起こさないように、全社員で努めてまいります。

